

製品名: リラキシン 2 ウサギモノクローナル抗体**カタログ番号: AMRe86476**

研究使用のみ

概要

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	0.55mg/ml。本製品の濃度はロットによって異なる場合があります。
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50mM トリスグリシン（pH 7.4）、0.15M NaCl、40%グリセロール、0.01%アジ化ナトリウム、0.05%保護タンパク質を含む溶液で提供されます。受領日から12ヶ月間安定です。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:1000-1:5000,IHC 1:200-1:500
分子量	Calculated MW:21 kDa; Observed MW:21 kDa

抗原情報

遺伝子名	Relaxin 2
別名	H1; H1RLX; RLXH1; bA12D24.3.1; bA12D24.3.2
遺伝子 ID	6013
SwissProt ID	P04090
免疫原	ヒトリラキシン 2 の合成ペプチド

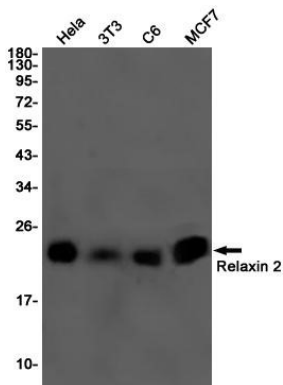
背景

リラキシンは、インスリン遺伝子スーパーファミリーに属する内分泌ホルモンおよびオートクリン/パラクリンホルモンとして知ら

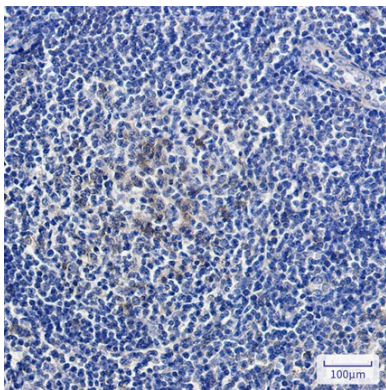
れています。ヒトには、RLN1、RLN2、RLN3 という3つの非対立遺伝子型リラキシン遺伝子が存在し、RLN1 と RLN2 は高い配列相
同性を有しています。この遺伝子によってコードされるタンパク質は単鎖ポリペプチドとして合成されますが、活性型はジスルフィ
ド結合で連結された A 鎖と B 鎖で構成されています。リラキシンは卵巣で産生され、哺乳類の生殖器系を標的として子宮頸管を成熟
させ、恥骨結合を伸長させ、子宮収縮を抑制します。さらに、精子の運動性亢進、血圧調節、心拍数制御、オキシトシンおよびバソ
プレシンの放出にも関与している可能性があります。[RefSeq 提供、2013 年 1 月]

研究分野

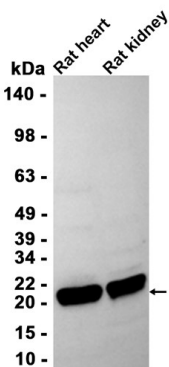
画像データ



リラキシン 2 抗体 (1:1000 希釈) を使用した、Hela、3T3、C6、MCF7 細胞溶解物中のリ
ラキシン 2 のウエスタン プロット検出。



AMRe86476 抗体を使用したパラフィン包埋ヒト扁桃腺の免疫組織化学分析。



AMRe86476 を 1:1000 で使用して、ラットの心臓、ラットの腎臓組織からの抽出物のウ
エスタンプロット分析を行いました。